

競 技 注 意 事 項

- 1 競技は、2022年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
スタートについては、日本陸上競技連盟競技規則第162条5の国内適用とする。不正スタートは、1回で失格となる。混成競技は、不正スタート2回目以降は、誰でも失格となる。
厚底シューズ規定に伴い、規定に反するシューズの使用を禁止する。ただし、WA_TR5.5 に関して、フィールド競技用シューズの適用除外を認め、使用することができることとする。
- 2 招集場所は北側倉庫前とする。招集時間に遅れた場合は、失格とする。
トラック種目については、招集の際に競技用シューズの確認を行うので持参すること。
招集時間は、以下のとおりとする。

招集時間	開始	終了		招集時間	開始	終了
トラック	25分前	15分前		棒高跳	90分前	80分前
フィールド	50分前	40分前		混成トラック	30分前	20分前
走高跳	60分前	50分前		混成フィールド	40分前	30分前

混成競技1日目及び2日目の最初の競技は、競技時間の30分前に始め20分前に招集を終わる。但し女子七種競技の2日目は、第1種目が走幅跳のため40分前に始め30分前に招集を終わる。

- 3 リレーオーダー用紙は第1組の招集完了1時間前に招集所へ提出すること。(プログラムの後ろにある)
- 4 ポールは跳躍場において審判員が検査する。砲丸・円盤・ハンマー・やりは、各競技開始時刻の1時間前から招集完了時刻までの間、フィニッシュ側器具庫内で検査する。検査に合格した器具は競技場使用の器具として借上げ使用とする。スパイクの長さは9mm以下を使用する。但し、走高跳・やり投は12mm以下とする。
- 5 トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラムに示してある。但し準決勝以後は、主催者で抽選し決定する。
- 6 フィールド競技の計測ラインは、下記の通りとする。但し荒天の場合は審判長が指示する。

	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投	やり投	ハンマー投
男 子	6m00	/	8m50	22m00	42m00	20m00
女 子	4m80	9m50	7m00	20m00	25m00	20m00

- 7 バーの上げ方は下記の表の通りとする。但し荒天等の場合は審判長が指示する。

性	種 目	練 習			競 技							
男	走 高 跳	1.65	1.75	1.80	1.70	1.75	1.80	1.83	1.86	1.89	以後3cm	
女	走 高 跳	1.35	1.45	1.55	1.40	1.45	1.48	1.51	1.54	1.57	以後3cm	
男	棒 高 跳	2.40	3.60	4.00	2.00	2.20	2.40	2.60	2.80	3.00	3.20	以後 10cm
女	棒 高 跳	2.10	2.60	3.00	2.00	2.20	2.40	2.50	2.60	2.70	以後 10cm	
男	八種走高跳	1.25	1.40	1.65	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	以後5cm	
女	七種走高跳	1.20	1.35	1.50	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.48	以後3cm	

- 8 トラック競技においてプラス出場者が決定数を越える場合、同記録者については、判定写真を拡大し、細部まで読みとり着差の判定をする。1000分の1秒まで同じで、レーンに余裕のない場合は本人または代理人によって抽選する。走高跳・棒高跳決勝で1位が複数出たとき、順位決定を行う。また6位(女子棒高跳は4位)が複数出たとき、代表決定を行う。バーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。
- 9 3位までの入賞者は、表彰をするので結果の正式発表(大型スクリーン表示)後10分以内に中央玄関ロビーへ集合すること。4位以下の賞状については各学校顧問が持ち帰ること。
- 10 6位までの入賞者及びリレーチームは、東海大会の申込書を作成するので、正式発表後直ちに中央玄関ロビーの東海総体受付係まで来て書類を受領し、手続きをすること。(但し、走高跳・男子棒高跳は6位6名まで、競歩と混成競技、女子の三段跳・ハンマー投は4位まで、女子の棒高跳は4位4名までの入賞者)
- 11 東海総体出場が決定している者が同順位であった場合、東海総体番組編成のための順位を、顧問立ち会いの下抽選で決定する。
- 12 三段跳の踏切板は男子12m、女子9mで行う。
- 13 男女5000m競歩は競技運営上の理由から、競歩審判員が途中で競技を止める場合がある。男女とも35分を超えて次の周回に入らない。
- 14 男女5000m競歩においてレーンナンバーカードを渡すので、胸背・腰(左右)に着用し、競技終了後、返却のこと。
- 15 競技場外における投てき物等を使用しての練習は禁止する。招集後競技場内で審判員の指示で練習する。
- 16 競技中におきた競技者の結果または行為に関する抗議は、該当競技者の顧問により、その種目の結果が正式発表されてから30分以内(次のラウンドが行われる種目では15分以内)に、担当総務員に対して口頭でなされなければならない。(大型スクリーン表示終了時刻を基準とする。)
- 17 補助員は、8時に雨天走路へ集合すること。
- 18 各自の所持品の管理は、各自の責任とする。また更衣室・控え場所は必ず清掃し、ゴミは持ち帰ること。
- 19 撮影禁止エリア(巻末参照)におけるカメラ、ビデオ等の撮影を禁止します。
- 20 競技場(雨天走路を含む)および補助競技場内には、選手および競技役員以外は立ち入らないこと。
- 21 東海大会の申込は、5月25日(水)17時必着
〒502-0931 岐阜市則武清水1841-11 岐阜北高等学校 沖村敏寛 宛(058)231-6628 へ申し込むこと。(参加料、プログラム代、アスリートビブス代を含む)
- 22 リレー種目で東海総体の出場権を得た学校は、5月24日(火)17時まで、エクセルファイルにエントリーメンバーの登録番号、氏名、学年がわかるように入力し、下記アドレスに送信すること。様式は問わない。

送信先 内藤弘匡 メールアドレス p51067@gifu-net.ed.jp

参加校 男 55校 女 50校 計 58校
選手数 男 616名 女 418名 計 1034名

令和4年度インターハイ県内地区予選会参加校・実出場者

		岐 阜	西 濃	中 濃	東 濃	飛 騨	合 計
男子	参加校	24	9	9	14	6	62
	実出場者	360	94	133	155	65	807
女子	参加校	22	8	9	11	5	55
	実出場者	212	55	88	65	41	461
合計	参加校	25	10	9	14	6	64
	実出場者	572	149	221	220	106	1268